

| | | | | | |
|--------------|-----|-------|--|-----|------|
| 関連科目〈資格関連科目〉 | クラス | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 司法・犯罪心理学 | | 17831 | Ⅱ | 春 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | |
| 十倉 利廣 | 選択 | 2 | 法務省心理専門職として犯罪アセスメントや処遇に従事する。少年鑑別所長、矯正研修所長等を歴任する。 | | |

授業の到達目標

- ・司法・犯罪分野の制度及び同分野の心理臨床の領域を概観できる。
- ・犯罪原因やメカニズムに関する諸理論を理解できる。
- ・警察関係機関、家庭裁判所（少年及び家事）、少年鑑別所、少年院、刑事施設（刑務所）、保護観察所、被害者支援領域における心理臨床業務に関する知識を習得する。
- ・非行・犯罪に関するアセスメント及び処遇技法に関する基礎知識を習得する。
- ・この授業を通して、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を身につける。

授業の概要

司法・犯罪領域における心理臨床の理論や業務を理解するために、犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を身につけるとともに、司法・犯罪分野の問題に対して必要な心理支援についての基本的知識を身につける。

授業計画

- 1 司法・犯罪心理学の基礎知識
- 2 犯罪心理学理論の進展 1
- 3 犯罪心理学理論の進展 2
- 4 各種犯罪 1 (窃盗)
- 5 各種犯罪 2 (薬物犯罪)
- 6 各種犯罪 3 (性犯罪)
- 7 各種犯罪 4 (暴力犯罪)
- 8 捜査心理学 1 (プロファイリング)
- 9 捜査心理学 2 (虚偽検出, 証言)
- 10 精神鑑定
- 11 家庭裁判所における心理臨床
- 12 少年鑑別所における心理臨床
- 13 少年院・刑務所における心理臨床
- 14 犯罪被害者支援
- 15 まとめ及び試験

授業の方法

講義を中心とする。資料等について、Web上で提供する。
なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、授業方

法が変更されることがある。

準備学修

webで参照すること。

課題・評価方法、その他

適宜レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。
平常点70%、定期試験30%
なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、評価方法が変更されることがある。

欠席について

原則として、欠席数が5回を超える場合は成績評価対象外とする。

テキスト

毎回講義資料を配布する。

留意事項

なお、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては、授業方法や評価方法等が変更されることがあるので、留意しておくこと。

| | | | | | |
|--------------|-----|-------|--|-----|------|
| 関連科目〈資格関連科目〉 | クラス | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 健康・医療心理学 | | 17835 | Ⅲ | 春 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | |
| 石川 慎一 | 選択 | 2 | 精神科、心療内科における診療、保健所での精神保健相談、児童福祉施設での精神医療、産業医活動。 | | |

授業の到達目標

- ① ストレスと心身の疾病との関係
 - ② 医療現場における心理社会的課題及び必要な支援
 - ③ 保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援
 - ④ 災害時に必要な心理に関する支援
- 以上を習得し、公認心理師資格の取得を目標に行われる講義である。
このクラスではKAISEIパーソナリティの、K（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

授業の概要

公認心理師の国家資格の受験資格要件に必要な科目の1つを提供する。健康保健・医療分野における、心理職に必要とされる心理学的概念とその操作を学習し、そのもとで展開される実際の活動を幅広く理解する。健康心理学、医療心理学の基礎概念である、健康とは何か、疾病予防の考え方、健康増進に対する心理学的なアプローチ、ストレスと心理支援を獲得し、多職種協働の行動様式で実践される健康・医療の様々な現場における心理支援の実践について領域ごとに学ぶ。

授業計画

- 1 ガイダンス
- 1 章 健康医療心理学
- 2 章 健康心理学におけるアセスメントと支援
- 3 章 ストレスマネジメント
- 4 章 各種の心理支援法
- 5 章 医療心理学
- 6 章 医療心理学におけるアセスメントと支援
- 7 章 精神科、児童精神科(精神科コンサルテーション・リエゾン)
- 8 章 院内独立型心理室
- 9 章 心療内科
- 10 章 小児科(母子保健含む)
- 11 章 緩和医療
- 12 章 産業保健
- 13 章 地域保健活動の実践
- 14 章 災害医療
- 15 章 多職種協働と医療連携

15 1-15章 総括

授業の方法

講義形式で行う。

準備学修

テキストの予習復習、レポートの提出。

課題・評価方法、その他

出席・レポート：60点（各授業、出席2点・レポート2点x15回）
終了時課題：40点
* 提出物は期限内に提出されたもののみ採点
* レポートは所定の電子ファイルのみで採点
* 出席点は実際に講義に参加した場合のみ加算

欠席について

各授業への欠席、遅刻で2点の減点とする。5回を超える欠席は不合格。

テキスト

宮脇稔他編『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社

留意事項

本講義は公認心理師カリキュラムの必修科目である。